

第65回南信高等学校柔道大会（長姫大会）実施要項  
兼 第40全国高等学校柔道選手権大会長野県大会南信予選会実施要項

- 主催** 南信柔道連盟
- 共催** 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家  
南信高等学校体育連盟
- 主管** 南信高等学校体育連盟柔道専門部
- 期日** 平成29年11月19日（日） 開会式 午前9時45分
- 会場** 飯田市武道館

- 試合規定**
1. 試合は国際柔道連盟試合審判規定、および全国高体連申し合わせ事項による。
  2. 試合時間は3分とする。
  3. 「優勢勝ち」の判定基準は「技有り」以上とする。
  4. 得点差がない場合は、延長戦（ゴールドスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールドスコア）は時間無制限とする。
  5. 試合場は、紅畳内側の32畳とし、紅畳からは場外とする。
  6. その他、県大会に準じる。

**試合方法** 1. 男子個人試合

4階級[60kg級, 66kg級, 73kg級, 81kg級]および無差別による各階級トーナメント戦を行う。  
※各階級上位4名を全国選手権柔道大会長野県大会への南信地区推薦選手とする。

2. 男子学校対抗戦

上記「1. 男子個人試合」に出場する選手の中から事前に5名を指定し、その選手の試合結果を以下の得点により積算し、学校得点として上位3校を表彰する。

| 得点（延長戦GS内も含める） |     |           |           |
|----------------|-----|-----------|-----------|
|                | 基本点 | 準決、3位決    | 決勝戦       |
| ○1本（反則）勝ち      | 4   | 基本点<br>×2 | 基本点<br>×3 |
| ◎技有り勝ち         | 3   |           |           |
| ・指導2勝ち         | 2   |           |           |
| ・指導1勝ち         | 1   |           |           |

3. 女子個人試合

本大会に参加した選手全員による52kg以下及び無差別級でリーグ戦を行う。なお交流戦であるため同率の場合においても順位決定は行わないこととする。

※全国選手権柔道大会長野県大会は、オープン参加であるが、本大会への登録を必要とする。

**参加資格**

1. 高等学校在籍生徒で、平成11年4月2日以降に生まれた者（平成29年4月2日現在で18歳未満であり、第1・2学年に在籍していること）。ただし、同一学年の出場は一回限りとする。
2. 転校後一年未満の者は出場することができない。ただし、一家転住等の理由により、やむを得ない場合はこの限りではない。
3. 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。
  - ①大会前1か月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
  - ②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。尚至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
  - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
4. 皮膚真菌症（トリコフィトン・トンズランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場

合は、大会への出場ができない場合もある。)

5. その他詳細は長野県大会に準ずる。

- 参加制限**
- 男子個人試合 ①体重区分は4階級[60kg級, 66kg級, 73kg級, 81kg級]および無差別とする。  
②無差別の選手は、他の階級を兼ねることはできない。  
③各校、各階級の出場人数制限は設けない。  
④各校の顧問が認めた選手とする。
  - 女子個人試合 ①体重区分は4階級[48kg級, 52kg級, 57kg級, 63kg級]および無差別とする。  
②無差別の選手は、他の階級を兼ねることはできない。  
③各校の参加登録人員に対する制限は設けない。

**計 量** 11月19日(土) 8:50~9:20、大会会場で実施。(無差別も計量を行います。)  
計量時の服装は高体連規定に準じる。

**組 合 せ** 11月11(土)までに南信高体連柔道専門委員会において、新人大会の結果を参考に組合せを行う。

**日 程** 11月19日(土)

- 計 量 8:50~9:20
- 審判監督会議 9:30~9:45
- 開 会 式 9:45~
- 試合開始予定 10:00~
- 閉 会 式 12:30 (予定・試合状況により変動します。)  
※閉会式終了後県大会申込手続きを行います。

**参加申込** 次の各申し込み用紙に必要事項を記入の上申し込む。

**(1) 長姫大会 及び 南信予選会の申込**

|                           |   |   |   |   |
|---------------------------|---|---|---|---|
| ①男子個人試合参加申込<br>(県選手権地区予選) | → | 第40回長野県高等学校柔道選手権大会男子個人参加申込書 兼 地区予選会男子個人参加申込書<br>(ホームページ「柔道ながの」よりダウンロード) | → | ○提出先<br>南信高体連柔道専門委員長<br>(辰野高校 百瀬 渡)<br>○提出期限<br><b>11月10日(金)</b><br>郵送またはメールにて申込<br>(※メールで申し込んだ場合は、押印した正本の申込書を大会当日本部まで提出)<br>○ <b>参加費 1名: 200円</b><br>長姫大会当日、会場にてお支払い下さい。 |
| ②長姫大会男子団体申込<br>(学校対抗団体登録) | → | 第65回南信高等学校柔道大会(長姫大会)申込書<br>男子学校対抗選手指定登録用紙                               |   |   |
| ③女子個人試合申込                 | → | 第40回長野県高等学校柔道選手権大会女子個人参加申込書 兼 地区予選会女子個人登録申込書<br>(ホームページ「柔道ながの」よりダウンロード) |   |   |

**(2) 長野県選手権大会の申込**

|             |   |   |   |   |
|-------------|---|---|---|---|
| ①男女団体試合申込   | → | 第40回長野県高等学校柔道選手権大会男子(女子)団体参加申込書 <b>参加費男子団体5000円女子団体3000円</b><br>(ホームページ「柔道ながの」よりダウンロード) | → | ○提出先<br>南信高体連柔道専門委員長<br>(辰野高校 百瀬 渡)<br>○提出期限<br><b>11月19日(土)</b><br>長姫大会終了後、会場にて提出してください。<br><br>○ <b>参加費</b><br>長姫大会終了後、会場にてお支払い下さい。 |
| ②男子個人試合参加申込 | → | 各階級4名が県大会への出場権を得る。(申込書は地区大会申込書が兼ねている) <b>参加費 1名2,500円</b>                               |   |   |
| ③女子個人試合参加申込 | → | オープン参加。南信予選に参加した選手(申込書は地区大会申込書が兼ねている) <b>参加費 1名2,500円</b>                               |   |   |

〒399-0428  
長野県上伊那郡辰野町伊那富36  
44-2  
辰野高校 百瀬 渡 宛  
TEL 0266-41-0770  
Mail momose-w@nagano-c.ed.jp

<関連ホームページ>  
「柔道ながの」 <http://judo-nagano.net/>

## 引率・監督

1. 選手は必ず当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を負う者とする。
2. 引率責任者は校長が認める当該校の職員とする。
3. 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険加入することを条件とする。
4. 監督の役割
  - ①監督は、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。
5. 監督の行為・言動
  - ①試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ、選手に対し指示を与えることができる。
  - ②次の行為を禁止する。
    - （ア）試合が続行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること。
    - （イ）対戦相手や自身の選手を侮辱する言動。
6. 罰則規定
  - ①1回目は審判員が合議の上、口頭により「警告」を与える。
  - ②2回目は審判員が合議をし、大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに、その試合が終わるまで監督席から退場させる。

※次の試合（対戦校）からは、監督席に座ることはできるが、その後も改善されない場合は、大会期間中をとおして、監督席への着席を認めない。

## その他

1. 競技中の傷害・疾病などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。